

デジタルハーツホールディングス (TYO: 3676)

2024/3期2Q、6%増収も減損を計上、通期下方修正へ。下期にかけては回復トレンドを計画

▷決算サマリー：6%増収も海外子会社の減損計上で最終赤字に。通期業績予想を下方修正。下期にかけて増収増益トレンドへ回復を計画

デジタルハーツホールディングス（以下、同社）の2024/3期2Q決算はエンタープライズ事業が引続き牽引し、前年同期比6%増収、186億円の売上高を達成した。一方、営業利益は、エンターテインメント事業の減収の影響や、(株)AGESTスピンオフ上場関連費用も含めた戦略投資により販管費が増加したこと等により47%の減益となった（7.2億円）。海外子会社ののれん減損などによる10億円の特別損失を計上、親会社株主に帰属する四半期純利益は4.3億円の赤字となった。

これらに伴い、通期の業績予想を下方修正。売上高を407.5億円から400億円に、営業利益は31.2億円を25億円とし、従来の増益予想から減益予想に。親会社株主に帰属する当期純利益は21億円から5.5億円とした。なお、下期に関しては、増収増益トレンドに回復し、半期ベース過去最高の売上高・営業利益を目指すとしている。

(株)AGESTのスピンオフ上場準備に関しては、予定通り着実に進捗しているもようだ。エンタープライズ関連のグループ会社の再編も2024年1月1日に実施を予定しており、2024年度を基準期とすれば、2025年にもスピンオフ上場の実現が期待できそうだ。

▷2024/3期通期予想：下期増収増益トレンドへの回復を計画

2Q終了時点での修正後2024/3期通期予想、売上高400億円、営業利益25億円に対する進捗率は、それぞれ47%、29%となっている。同社では下期は業績回復による増収増益を計画しており、下期だけでみた場合、売上高は213.3億円、前年同期比で13%増、営業利益は17.7億円、同9%増益を予想、営業利益は半期として過去最高を記録する見込み。また、下期の親会社株主に帰属する純利益は約10億円を予想しているが、上期の減損損失の影響は大きく、通期で5.5億円にとどまる見込みである。

▷株価動向：悪材料出尽くしで反転に期待

今回の決算発表及び通期業績予想の下方修正を受け、決算発表後2日間で同社株価は約14%下落した。2023/3期にエンターテインメントの海外子会社ののれんの減損（約10億円）を特別損失として計上したのに続いて、エンタープライズの海外子会社においても同額程度の減損がアナウンスされたことへのサプライズの影響は大きかったと思われる。一方で、収益面での課題の一つであった海外事業の減損により悪材料が出尽くしたともいえ、今後は前向きなニュースが期待されるだろう。スピンオフ上場の準備も着実に進んでおり、今後の進展を注視していきたい。

2Q決算アップデート

情報テクノロジー

2023年12月22日

株価(12/21)	950円
52週高値/安値	1,950/818円
1日出来高(3ヶ月)	160.7千株
時価総額	226億円
企業価値	201億円
PER(24/3予)	38.46倍
PBR(23/3実)	2.64倍
予想配当利回り(24/3)	2.21%
ROE(TTM)	3.48%
営業利益率(TTM)	-6.41%
ベータ(5年間)	0.94
発行済株式数	23.890百万株
上市市場	東証プライム

株価パフォーマンス



%	1ヶ月	3ヶ月	12ヶ月
株価	4.4%	-7.0%	-46.7%
相対株価	6.3%	-4.7%	-56.6%

注目点

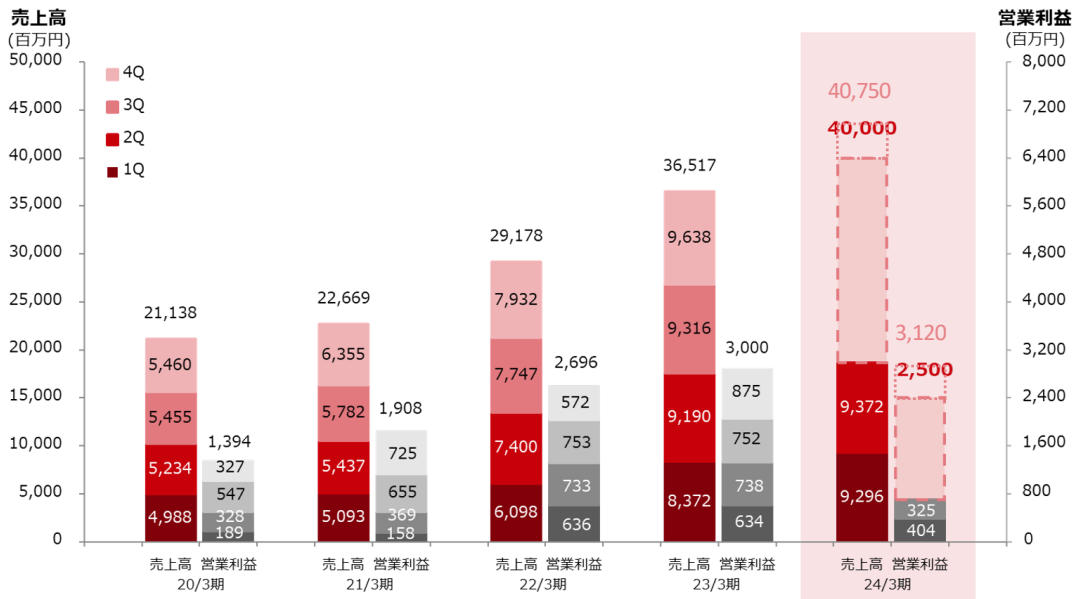
ゲームデバッグで創業し、エンタープライズ向けソフトウェアテストに展開。DXも追い風に、エンタープライズ向け事業が急成長中。エンターテインメントはグローバル展開にも注力へ。エンタープライズ事業の中核会社AGESTの上場準備開始を発表。

当レポート(決算アップデート)は、デジタルハーツホールディングスの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
2020/3	21,138	9.8	1,394	-13.2	1,372	-16.9	792	-49.7	36.31	14.00
2021/3	22,669	7.2	1,908	36.9	1,975	43.9	974	23.0	45.15	14.00
2022/3	29,178	28.7	2,696	41.3	2,774	40.4	1,778	82.5	82.25	15.00
2023/3	36,517	25.2	3,000	11.3	3,152	13.6	799	-55.0	36.50	21.00
2024/3 (旧会予)	40,750	11.6	3,120	4.0	3,160	0.2	2,100	162.6	95.86	21.00
2024/3 (新会予)	40,000	9.5	2,500	-16.7	2,560	-18.8	550	-31.2	24.69	21.00
2023/3 2Q	17,562	30.1	1,372	0.2	1,517	6.0	945	3.1	43.70	10.50
2024/3 2Q	18,669	6.3	729	-46.8	792	-47.8	-436	-	-19.61	10.50



通期連結売上高 / 営業利益トレンド



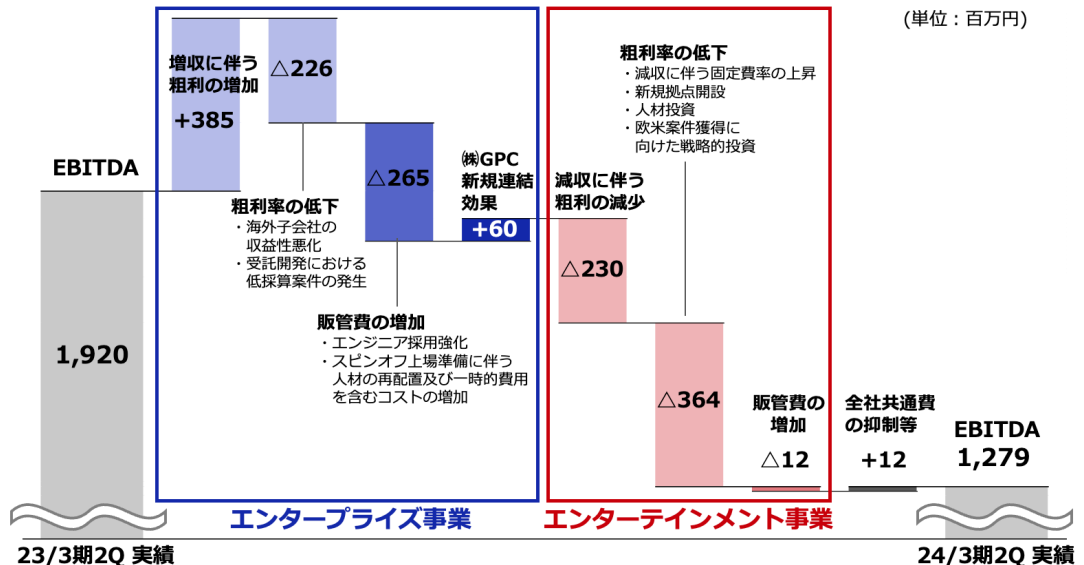
出所：同社 2024年3月期 第2四半期決算説明資料（2023/11/9）よりOmega Investment 作成

◇ 2024/3期2Q決算：増収も営業利益は47%の減益。海外子会社の減損を特別損失に計上、通期予想を下方修正へ

同社の2024/3期2Q決算は、エンターテインメント事業が前期が強すぎた反動で減収となった結果、引続きエンタープライズ事業が2割増収と好調で、売上高は18,669百万円、6.3%の増収を達成。営業利益においては、エンターテインメント事業の減収の影響、エンタープライズ事業における海外子会社の収益性の悪化に加え、成長投資や(株)AGESTのスピノフ上場費用等により46.8%の減益、729百万円に。また、エンタープライズ事業の海外事業について、経営体制や営業戦略の大幅な見直しを行なった結果、関連するのれん等の減損処理を実施。1,030百万円の減損損失を計上した（内訳は、LOGIGEAR CORPORATIONにおける減損損失584百万円、DEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITED 及び MK Partners, Inc. における減損損失446百万円）。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は436百万円の損失となった。

EBITDAの増減分析は下図を参照。エンタープライズ事業のEBITDAは、増収に伴う粗利の増加があったものの、海外子会社の収益性悪化及び受託開発における低採算案件の発生による粗利率の低下に加え、エンジニアの積極採用、およびスピノフ上場準備に伴い今

EBITDA増減分析



出所：同社 2024年3月期 第2四半期決算説明資料（2023/11/9）



まで全社的な費用に含まれていた人件費が同事業に付け変わったことや一時的な費用の発生等により、10.4%減の397百万円となった。また、エンターテインメント事業においては、前年の反動による売上減少の影響で粗利が減少、減収に伴う固定費率の上昇や新拠点開設、テスター時給の引き上げといった人材等への戦略投資を行なったことにより、同事業のEBITDAは25.5%減少、1,772百万円に。その結果、全社共通費の抑制(+12百万円)はあるものの、全体では、33.4%減の1,279百万円となった。

◇セグメント別動向：(下図及びP7の表も参照)

1) エンタープライズ事業：売上高 9,429百万円、23.8%増、営業利益 35百万円、66.5%減

国内IT投資の増加等の追い風に対応し、エンジニア採用や技術力の強化、提供サービスの拡充を行なった結果、M&A効果も加わり23.8%の増収を達成した。利益面では、海外子会社における収益性の悪化に加え、(株)AGESTのスピンオフ上場へ向けてのグループ子会社再編、本部人員増強や本社機能移転に関する費用が発生し、セグメント利益は66.5%減少、35百万円となった。

サブセグメントの動向は以下の通り。

—QAソリューション：売上高 6,287百万円(37.2%増)。引続きDX加速等を背景に国内のソフトウェアテスト需要の拡大は続いており、M&Aの効果を除いても27.6%の大幅増収を達成。QAソリューションの主要KPIは下表を参照。受注顧客数が前四半期費減少しているが、これは海外顧客数の減少によるものであり国内顧客数は増加している。平均顧客単価、エンジニア数は着実に増加を示している。

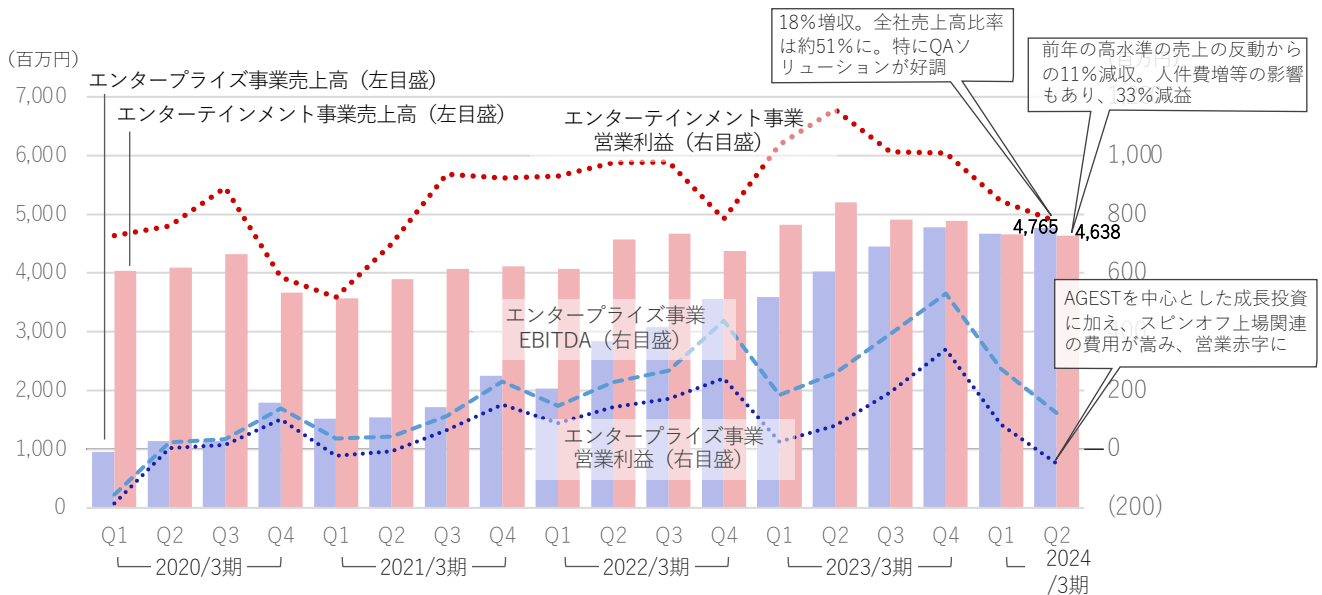
QAソリューション主要KPI

	2022/3期		2023/3期				2024/3期	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
受注顧客数(社)	748	627	650	693	808	824	822	
平均顧客単価(百万円)	10	10	12	12	13	13	14	
エンジニア数(名)	924	961	1,026	993	1,009	1,047	1,082	

出所：同社資料より Omega Investment 作成

—ITサービス及びその他：売上高 3,141百万円(3.7%増)。リモートワークの拡大等を背景に増加する需要を確実に獲得、セキュリティ監視サービスは13.2%増加。2021年6月に子会社化した(株)アイデンティティのエンジニア登録人数が32千人の規模に達する等、事業基盤は着実に拡大している。

セグメント別売上高/利益の推移
(四半期ベース)



出所：同社資料より Omega Investment 作成



2) エンターテインメント事業：売上高 9,299百万円、7.2%減、営業利益 1,618百万円、26.2%減

国内デバッグは、高水準の売上を維持するも前年の反動の影響で減収に。一方で、グローバル及びその他も伸び悩み、全体では7.2%の減収となった。利益面では、売上減に加えて、優秀な人材確保のためにテスター時給を引き上げる等の人件費増の影響もあり、26.2%の減益。下期については、売上高・利益率ともに回復すると同社では見込んでいる。

ー国内デバッグ：売上高 6,340百万円（8.1%減）。 コンソールゲームにおいて大型タイトルが相次いで発売された前年からの反動が大きく減収に。但し、サービス品質の強化策等に取り組むことにより、四半期売上高は 31億円と2022/3期4Qの105%レベルの高水準を維持している。売上減少に加え、4月から実施した時給アップによる人件費増、新拠点開設（熊本）等のコスト増が要因となり、粗利率は前年同期の 32.5%から28.5%に低下した。同社では、売上拡大及び10月以降の価格転嫁の浸透により、下期には 30%台に回復すると見込んでいる。

ーグローバル及びその他：売上高 2,958百万円（5.3%減）。 中国市場において、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）やゲーム規制の影響の余波を受けたことに加え、台湾の現地の広告代理店事業を切り離したこと等の影響があり減収に。ただし、注力分野であるグローバルサービス(翻訳・LQA、マーケティング支援)のみを見た場合、本事業切り離しの影響を除けば売上高前期比110%と高い成長を維持している。一方で、8月には日本及びアジアのゲームメーカーの欧州・中東展開のためのサービス拡充及び欧州ゲームメーカーへの営業体制の強化を目的に、スペインに本社を置くゲームローカライゼーション企業の Localsoft, S.L. と戦略的業務提携契約を締結。さらに、AI活用ゲーム翻訳エンジンの開発開始等、エンターテインメント事業の新たな成長のための取り組みを推進している。

◇ 2024/3期通期業績予想：2Q決算発表を受け、下方修正

同社では、2Q決算発表を受け、通期の業績予想を下方修正。売上高を 407.5億円から400億円に、営業利益は 31.2億円を 25億円、経常利益を 31.6億円から 25.6億円とし、従来の増益予想から減益予想に。親会社株主に帰属する当期純利益は 21億円から 5.5億円へと下方修正した。

修正の理由として、売上高においては、1) エンターテインメント事業において、前記好調であった国内ゲーム市場の反動に加え、中国ゲーム市場で感染症拡大や規制等の影響を受けたこと、2) エンタープライズ事業においても、海外子会社において感染症拡大以降、新規案件獲得が遅れたこと、が原因としている。また利益面では、1) 両事業の売上高未達の影響、に加え、2) エンターテインメント事業におけるグローバル事業強化に伴う先行投資のためのコスト増加、3) (株)AGESTのスピンオフ上場関連費用、更には、4) 既述の海外事業ののれん等の減損損失を2Qに特別損失として計上したこと、がその要因。

2Q終了時点での修正後 2024/3期通期予想、売上高 400億円、営業利益 25億円に対しての進捗率は、それぞれ 46.7%、29.2%となっている。しかしながら下期に関しては、国内ゲーム市場の回復によりエンターテインメント事業が増収増益トレンドに戻ることに、加えてエンタープライズ事業においても、海外子会社の再編（成長戦略の変更や経営陣のリストラクチャリングに伴うコスト削減、のれんの償却負担減、等を実施）や国内売上拡大に

2024/3期通期連結業績予想の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	EPS (円)
前回発表予想 (A)	40,750	3,120	3,160	2,100	95.86
今回修正予想 (B)	40,000	2,500	2,560	550	24.69
増減額 (B - A)	-750	-620	-600	-1,550	-
増減率 (%)	-1.8	-19.9	-19.0	-73.8	-
2022/12期通期実績	36,517	3,000	3,152	799	36.50
修正後、前期比 (%)	9.5	-16.7	-18.8	-31.2	24.69
2Q決算実績	18,669	729	792	-436	-
2Q時点での進捗率 (%)	46.7	29.2	30.9	-	-

出所：同社資料より Omega investment 作成



よる収益性の改善を見込んでおり、半期ベースで過去最高の売上高 21,330百万円、営業利益 1,770百万円を目指す、と同社では公表している。

◇ (株)AGESTのスピノフ上場プロジェクトの進捗

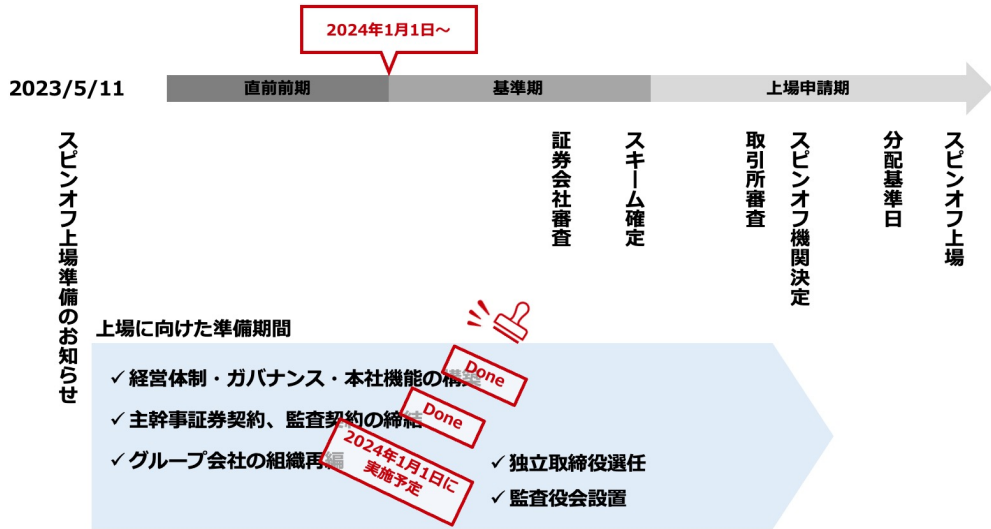
今回のスピノフ上場に際して、前回までのレポートでも投資家に対して丁寧な説明が求められる旨記してきたが、今回の決算説明資料においてより詳しい説明のスライドが追加されているので、参考にされたい (<https://pdf.irpocket.com/C3676/MH4b/aVzo/uWlq.pdf>)。同資料のP29以降では、エンタープライズ事業、エンターテインメント事業のそれぞれの目指す姿と、両事業は異なる専門性、異なる企業カルチャーを必要とするために、今回の(株)AGESTのスピノフ上場という選択をしたということ等が判りやすく述べられている。

5月の2023/3期通期決算発表時のスピノフ公表以降、同社ではスピノフ上場の実現に向けて、(株)AGESTの経営体制・ガバナンス・本社機能の構築に伴う人材の採用等を積極的に進めてきており、順調にスケジュールは進捗しているもようだ(下図)。

また、2Q時に減損損失を計上することとなった米国テスト子会社において、経営体制の刷新や組織再編を実施。米国子会社のベトナム現地法人を AGEST Vietnam Co. Ltd. として AGESTブランドに統一するとともに、AGESTの子会社として再編。従来、欧米顧客向けサービスに活用していたベトナムのエンジニアや独自のツールを、今後は日本国内企業向けサービスに積極活用する(次ページ、上図参照)。

2024年1月1日に、これらエンタープライズ関連のグループ会社の再編を実施する予定で、2024年1月に新生AGESTグループの骨格が固まれば、2024年度を基準期として、2025年にもスピノフ上場の実現が期待できそうだ。

(株)AGESTのスピノフスケジュールの進捗



*一般的に想定しうるスケジュールを記載。
実際のスケジュールは、スピノフ上場準備の過程において今後修正が入る可能性有。

出所：同社 2024年3月期 第2四半期決算説明資料 (2023/11/9)



(株)AGESTを中心としたグループ事業再編

Point 1

グループ組織再編、経営体制の刷新

- ・エンタープライズ事業を展開する各社を(株)AGESTの子会社にする事で、新生AGESTとしての連結経営体制へ
- ・米国LOGIGEAR CORPORATIONのマネジメント体制を刷新

Point 2

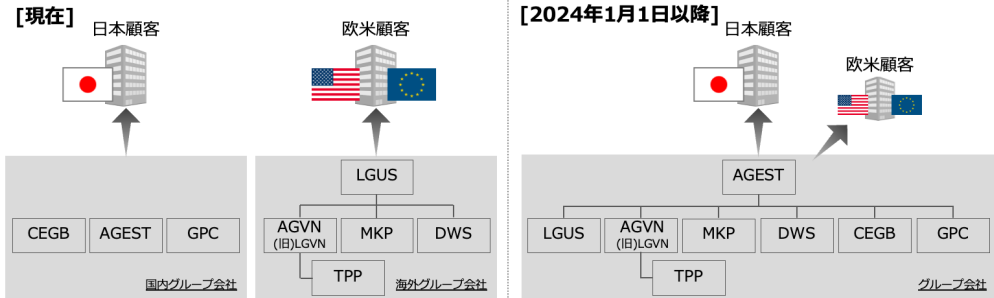
ベトナムリソースの日本活用を本格化

- ・ベトナム子会社の商号をAGEST Vietnam Co., Ltd.に変更し、AGESTブランドに統一
- ・ハノイにAGEST DXソリューションセンターを設立し、日本向けデリバリー機能を強化

Point 3

エンタープライズ事業の成長加速のため海外戦略を転換

- ・欧米顧客向けサービスに活用していたベトナムエンジニアや独自ツールを、AGESTの強力な営業力のもと、日本国内企業向けサービスに積極活用する方針へと転換



出所：同社 2024年3月期 第2四半期決算説明資料 (2023/11/9)

◇ 株価動向：悪材料出尽くしで、今後の反転に期待

同社株価は、2021年12月13日に2,700円の高値を付けて以来、下落傾向が続いてきた。今回の決算発表及び通期予想の下方修正を受け、決算発表後2日間で同社株価は14%下落。年初来下落率は52.7%となった。エンターテインメント事業が前期が極めて好調だったため、ある程度の反動の影響が出ることについては予想できたが、2023/3期にエンターテインメント事業の海外子会社ののれんの減損(約10億円)による特別損失を計上したのに続いて、エンタープライズ事業の海外子会社においても同額程度の減損がアナウンスされたことへのサプライズの影響は大きかったと思われる。一方で、昨年より何度となく低採算となっていた海外事業が今回の戦略変更により収益貢献に転じることが期待できる他、減損の実施により償却負担も軽くなる効果も見込まれる。上に見たようにスピノフ上場の準備も着実に進んでおり、今後の業績回復を含めた進展状況を注視していきたい。

デジタルハーツホールディングス(3676) 株価動向 (直近3ヵ年)



財務データ |

	2021/3				2022/3				2023/3				2024/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q*	2Q*	3Q*	4Q*	1Q	2Q
[セグメント別売上高]														
売上高	5,093	5,437	5,782	6,355	6,098	7,400	7,747	7,932	8,372	9,190	9,316	9,638	9,262	9,372
前年同期比	2.1%	3.9%	6.0%	16.4%	19.7%	36.1%	34.0%	24.8%	37.3%	24.2%	20.3%	21.5%	11.0%	2.0%
エンタープライズ事業	1,523	1,540	1,710	2,246	2,029	2,833	3,074	3,553	3,589	4,025	4,451	4,774	4,663	4,765
前年同期比	59.6%	35.1%	50.9%	25.2%	33.2%	83.9%	79.7%	58.2%	76.8%	42.0%	44.8%	34.3%	29.9%	18.4%
売上高構成比	29.9%	28.3%	29.6%	35.3%	33.3%	38.3%	39.7%	44.8%	42.9%	43.8%	47.8%	49.5%	50.2%	50.8%
QAソリューション	1,129	1,127	1,267	1,633	1,395	1,572	1,772	2,121	2,102	2,481	2,730	3,166	3,101	3,186
前年同期比	-	-	-	-	23.6%	39.5%	39.9%	29.9%	50.7%	57.8%	54.1%	49.3%	47.5%	28.4%
売上高構成比	22.2%	20.7%	21.9%	25.7%	22.9%	21.2%	22.9%	26.7%	25.1%	27.0%	29.3%	32.8%	33.9%	34.0%
ITサービス及びその他	393	413	442	613	634	1,260	1,301	1,432	1,486	1,543	1,721	1,608	1,562	1,579
前年同期比	-	-	-	-	61.3%	205.1%	194.3%	133.6%	134.3%	22.4%	32.3%	12.4%	5.1%	2.3%
売上高構成比	7.7%	7.6%	7.6%	9.6%	10.4%	17.0%	16.8%	18.1%	17.7%	16.8%	18.5%	16.7%	16.8%	16.8%
エンターテインメント事業	3,566	3,900	4,072	4,109	4,069	4,566	4,672	4,378	4,818	5,201	4,906	4,889	4,661	4,638
前年同期比	-11.6%	-4.7%	-5.8%	12.1%	14.0%	17.1%	14.7%	6.6%	18.4%	13.9%	5.0%	11.7%	-3.3%	-10.9%
売上高構成比	70.0%	71.7%	70.4%	64.7%	66.7%	61.7%	60.3%	55.2%	57.6%	56.6%	52.7%	50.7%	50.1%	49.5%
国内デバッグ	2,681	2,846	2,953	3,054	2,931	3,030	3,149	3,011	3,334	3,561	3,220	3,720	3,171	3,169
前年同期比	-	-	-	-	9.3%	6.4%	6.7%	-1.4%	13.7%	17.5%	2.2%	8.6%	-4.9%	-11.0%
売上高構成比	52.7%	52.4%	51.1%	48.1%	48.1%	41.0%	40.7%	38.0%	39.8%	38.8%	34.6%	33.9%	34.1%	33.8%
グローバル及びその他	887	1,050	1,118	1,054	1,137	1,536	1,522	1,366	1,484	1,640	1,685	1,620	1,490	1,468
前年同期比	-	-	-	-	28.2%	46.3%	36.1%	29.6%	30.4%	6.8%	10.7%	18.5%	0.4%	-10.5%
売上高構成比	17.4%	19.3%	19.3%	16.6%	18.7%	20.8%	19.7%	17.2%	17.7%	17.8%	18.1%	16.8%	16.0%	15.7%
営業利益	158	369	655	725	636	733	753	572	634	738	752	875	404	325
前年同期比	-16.4%	12.4%	19.7%	121.3%	301.3%	98.5%	14.9%	-21.1%	-0.3%	0.6%	-0.2%	52.8%	-36.3%	-55.9%
営業利益率	3.1%	6.8%	11.3%	11.4%	10.4%	9.9%	9.7%	7.2%	7.6%	8.0%	8.1%	9.1%	4.3%	3.5%
エンタープライズ事業	-21	-7	64	152	87	144	171	241	24	79	194	340	83	-48
前年同期比	-	-	360.3%	51.3%	-	-	163.8%	58.7%	-72.0%	-45.2%	13.3%	40.6%	240.4%	-
セグメント利益率	-1.4%	-0.5%	3.8%	6.8%	4.3%	5.1%	5.6%	6.8%	0.7%	2.0%	4.4%	7.1%	1.8%	-1.0%
エンターテインメント事業	517	700	936	923	930	975	978	783	1,036	1,155	1,014	1,008	844	774
前年同期比	-28.9%	-8.0%	5.0%	57.9%	79.9%	39.3%	4.5%	-15.2%	11.4%	18.5%	3.6%	28.8%	-18.5%	-33.1%
セグメント利益率	14.5%	17.9%	23.0%	22.5%	22.9%	21.4%	20.9%	17.9%	21.5%	22.2%	20.7%	20.6%	18.1%	16.7%

注) *2023年3月期第4四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、全社及びエンタープライズ事業の営業利益に反映している。また、2023/3期より、エンタープライズ事業のサブセグメント区分を変更している。売上高、営業利益とも調整額の項目があるため、セグメントの合計と全体は一致しないことがある

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ II

	2021/3				2022/3				2023/3				2024/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q*	2Q*	3Q*	4Q*	1Q	2Q
【損益計算書】														
売上高	5,093	5,437	5,782	6,355	6,098	7,400	7,747	7,932	8,372	9,190	9,316	9,638	9,296	9,372
売上原価	3,819	4,002	4,001	4,700	4,271	5,290	5,579	5,645	5,899	6,478	6,690	6,817	6,890	6,978
売上総利益	1,273	1,437	1,781	1,655	1,827	2,109	2,167	2,287	2,472	2,713	2,625	2,820	2,406	2,394
販売費及び一般管理費	1,115	1,067	1,126	1,150	1,191	1,375	1,414	1,714	1,837	1,970	1,868	1,961	2,001	2,068
営業利益	158	369	655	725	636	733	753	572	634	738	752	875	404	325
営業外収益	38	10	24	5	38	31	12	30	5	150	78	-14	15	55
営業外費用	2	3	4	10	4	4	5	21	7	4	11	44	4	4
経常利益	194	376	675	720	670	760	759	582	632	889	824	800	415	377
特別利益		19	32		13	66	1	1	-	-	41	33	-	-
特別損失	82	13	16	415	2	42	32	35	-	6	171	1,052	2	1,042
税金等調整前四半期純利益	113	381	691	318	681	785	730	547	632	882	694	-218	412	-665
法人税等合計	38	122	224	145	189	281	233	35	198	306	216	418	79	108
親会社株主に帰属する四半期純利益	99	256	438	180	487	429	445	415	413	533	450	-601	338	-774
【貸借対照表】														
流動資産	6,648	7,291	8,017	9,744	9,604	9,848	10,658	10,392	10,874	12,182	11,569	12,528	12,160	13,072
現金及び預金	3,027	3,482	4,085	5,076	4,911	5,435	5,746	5,208	5,573	6,850	5,948	6,456	6,240	6,997
受取手形及び売掛金	2,889	3,099	3,201	4,097										
受取手形、売掛金及び契約資産					4,161	3,872	4,372	4,411	4,614	4,672	4,930	5,377	5,120	5,414
固定資産	3,205	3,167	3,160	4,593	6,321	6,178	6,342	7,217	8,158	8,505	8,343	7,052	7,234	6,218
有形固定資産	560	549	565	598	602	623	621	693	1,067	1,077	1,100	1,169	1,259	1,335
無形固定資産	1,445	1,424	1,433	2,670	4,389	4,244	4,225	5,139	5,206	5,750	5,593	4,188	4,146	3,021
のれん	1,032	991	950	2,467	4,175	4,042	3,945	4,588	4,812	5,301	5,082	3,468	3,411	2,423
投資その他の資産	1,199	1,193	1,161	1,324	1,330	1,309	1,495	1,384	1,883	1,678	1,649	1,694	1,828	1,861
資産合計	9,854	10,459	11,177	14,338	15,925	16,026	17,001	17,610	19,033	20,688	19,913	19,581	19,394	19,291
流動負債	4,450	4,655	5,061	7,904	8,954	8,775	9,354	9,679	10,759	11,330	9,495	9,930	10,126	10,644
短期借入金	2,546	2,551	2,552	4,728	5,534	5,406	5,406	5,421	6,806	7,106	5,106	5,106	5,606	5,606
固定負債	62	132	135	119	294	55	58	364	162	154	113	176	185	198
長期借入金	-	66	65	63	236	-	-	169	-	-	-	-	-	-
負債合計	4,513	4,788	5,196	8,024	9,249	8,830	9,413	10,044	10,921	11,485	9,608	10,107	10,311	10,842
純資産合計	5,340	5,670	5,980	6,314	6,677	7,196	7,588	7,566	8,111	9,202	10,304	9,474	9,082	8,448
株主資本	4,841	5,172	5,460	5,642	5,983	6,436	6,719	6,774	7,030	7,779	8,838	8,283	8,061	7,310
資本金	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
資本剰余金	355	331	331	331	331	338	338	-	-	60	375	393	66	70
利益剰余金	6,848	7,105	7,393	7,575	7,916	8,342	8,626	9,019	9,275	9,809	10,031	9,427	9,532	8,757
自己株式	-2,662	-2,565	-2,565	-2,565	-2,565	-2,545	-2,546	-2,545	-2,545	-2,391	-1,868	-1,838	-1,838	-1,818
新株予約権	13	13	13	13	-	-	-	-	-	10	6	6	-	-
負債純資産合計	9,854	10,459	11,177	14,338	15,925	16,026	17,001	17,610	19,033	20,688	19,913	19,581	19,394	19,291
【キャッシュ・フロー計算書】														
営業活動によるキャッシュ・フロー		101		1,416		1,703		3,077		1,430		2,850		1,156
税金等調整前四半期純利益		494		1,504		1,466		2,744		1,510		1,996		-252
投資活動によるキャッシュ・フロー		-261		-1,813		-1,682		-2,537		-1,496		-1,903		-592
財務活動によるキャッシュ・フロー		-90		1,730		316		-546		1,488		141		-200
フリーキャッシュフロー		-160		-397		21		540		-66		947		564
現金及び現金同等物の増減額		-252		1,341		359		132		1,676		1,283		540
現金及び現金同等物の期首残高		3,704		3,704		5,041		5,041		5,173		5,173		6,454
現金及び現金同等物の四半期末残高		3,447		5,041		5,400		5,173		6,850		6,456		6,997

注) 2023年3月期第4四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行なっており、PL上の営業利益に反映している。それ以外、経常利益以下、BS、CFについては非開示のため修正を行っていない

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ（通期ベース）

（単位：百万円、円）

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
[損益計算書]										
売上高	10,137	13,285	15,011	15,444	17,353	19,254	21,138	22,669	29,178	36,517
前期比（%）	-	31.0	13.0	2.9	12.4	11.0	9.8	7.2	28.7	25.2
売上原価	6,653	9,336	10,690	10,938	12,394	13,791	15,566	16,235	20,787	25,885
売上総利益	3,484	3,948	4,320	4,506	4,958	5,463	5,571	6,433	8,391	10,632
販売費及び一般管理費	1,703	2,431	2,356	2,599	3,222	3,857	4,177	4,524	5,695	7,631
営業利益	1,780	1,517	1,963	1,906	1,735	1,605	1,394	1,908	2,696	3,000
前期比（%）	-	14.8	29.4	-2.9	-9.0	-7.5	-13.2	36.9	41.3	11.3
営業利益率（%）	17.6	11.4	13.1	12.3	10.0	8.3	6.6	8.4	9.2	8.2
営業外収益	22	66	43	128	57	109	22	80	112	220
営業外費用	15	57	49	37	10	63	44	13	34	68
経常利益	1,788	1,525	1,958	1,997	1,782	1,651	1,372	1,975	2,774	3,152
特別利益	18		9	17	2	733		55	83	75
特別損失	14		835	573	151	51	75	526	112	1,231
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,525	1,132	1,441	1,632	2,333	1,296	1,504	2,749	1,996
法人税等合計	700	975	734	641	503	745	499	530	739	1,109
親会社株主に帰属する当期純利益	1,087	539	361	795	1,200	1,575	792	974	1,778	799
前期比（%）	-	-50.4	-33.0	119.7	51.0	31.3	-49.7	23.0	82.7	-55.0
当期純利益率（%）	10.7	4.1	2.4	5.1	6.9	8.2	3.7	4.3	6.1	2.2
[補足データ]										
EPS	45.96	22.61	15.72	35.58	55.14	72.13	36.31	45.15	82.25	36.50
ROE（%）	33.6	13.8	10.5	29.2	40.0	38.6	16.3	18.4	28.0	10.1
ROA（%）	29.8	19.8	26.5	28.2	22.0	17.9	13.4	15.8	17.4	17.0
配当	16.00	34.00	38.00	23.00	11.50	13.00	14.00	14.00	15.00	21.00
配当性向（%）	16.3	37.6	60.4	32.3	20.9	18.0	38.6	31.0	18.2	57.5
[貸借対照表]										
流動資産	5,549	5,756	5,064	6,221	6,732	7,403	7,453	9,744	10,392	12,528
現金及び預金	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,197	3,739	5,076	5,208	6,456
受取手形及び売掛金	1,483	2,374	2,230	1,942	2,480	2,724	2,985	4,097		
受取手形、売掛金及び契約資産									4,411	5,377
固定資産	1,611	2,516	1,469	1,430	1,842	2,428	6,178	6,342	7,217	7,052
有形固定資産	323	368	299	298	473	558	579	598	693	1,169
無形固定資産	695	1,505	580	238	286	763	1,379	2,670	5,139	4,188
のれん	595	1,169	437	201	150	481	1,027	2,467	4,588	3,468
投資その他の資産	592	642	589	893	1,082	1,107	1,225	1,324	1,384	1,694
資産合計	7,160	8,272	6,533	7,651	8,575	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581
流動負債	3,372	3,823	3,374	3,759	3,929	4,192	5,134	7,904	9,679	9,930
短期借入金	1,610	1,603	1,299	1,630	1,600	1,704	2,546	4,728	5,421	5,106
固定負債	20	280	69	1,033	1,075	627	63	119	364	176
長期借入金	12	216	46	2	-	50	-	63	169	-
負債合計	3,393	4,104	3,444	4,793	5,005	4,819	5,198	8,024	10,044	10,107
純資産合計	3,766	4,168	3,089	2,858	3,570	5,012	5,438	6,314	7,566	9,474
株主資本	3,687	4,036	2,773	2,590	3,340	4,763	4,898	5,642	6,774	8,283
資本金	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
資本剰余金	300	300	368	277	331	366	355	331	-	393
利益剰余金	3,086	3,435	3,604	4,164	5,113	6,408	6,904	7,575	9,019	9,427
自己株式	0	0	-1,499	-2,152	-2,405	-2,311	-2,662	-2,565	-2,545	-1,838
新株予約権		14	14			13	13	13	-	6
負債純資産合計	7,160	8,272	6,533	7,651	8,575	9,832	10,637	14,338	17,610	19,581
自己資本比率（%）	51.9	49.5	43.1	34.4	39.3	48.7	46.3	39.7	39.7	45.0
1株当たり純資産	155.63	171.30	125.80	119.96	154.61	219.06	228.62	263.32	323.21	395.65
[キャッシュ・フロー計算書]										
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,561	870	1,080	1,825	1,436	889	1,086	1,416	3,077	2,850
税金等調整前当期純利益	1,792	1,525	1,132	1,441	1,632	2,333	1,296	1,504	2,744	1,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	-368	-568	-17	-610	-618	62	-1,018	-1,813	-2,537	-1,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	-950	-1,913	-69	-250	-693	-515	1,730	-546	141
フリーキャッシュフロー	1,193	302	1,063	1,215	818	951	68	-397	540	947
現金及び現金同等物の増減額	1,508	-634	-860	1,146	564	258	-458	1,341	132	1,283
現金及び現金同等物の期首残高	2,184	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,162	3,704	5,041	5,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,693	3,058	2,197	3,344	3,894	4,162	3,704	5,041	5,173	6,456

注）2023年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映している

出所：同社決算短信等より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。